

ANNUAL REPORT

2025

認定特定非営利活動法人

ファミリーハウス®

病気の子どもと家族のための滞在施設



© Yuriko Yamawaki 2006

認定NPO 法人ファミリーハウスの取り組み

先端医療を必要とする子ども

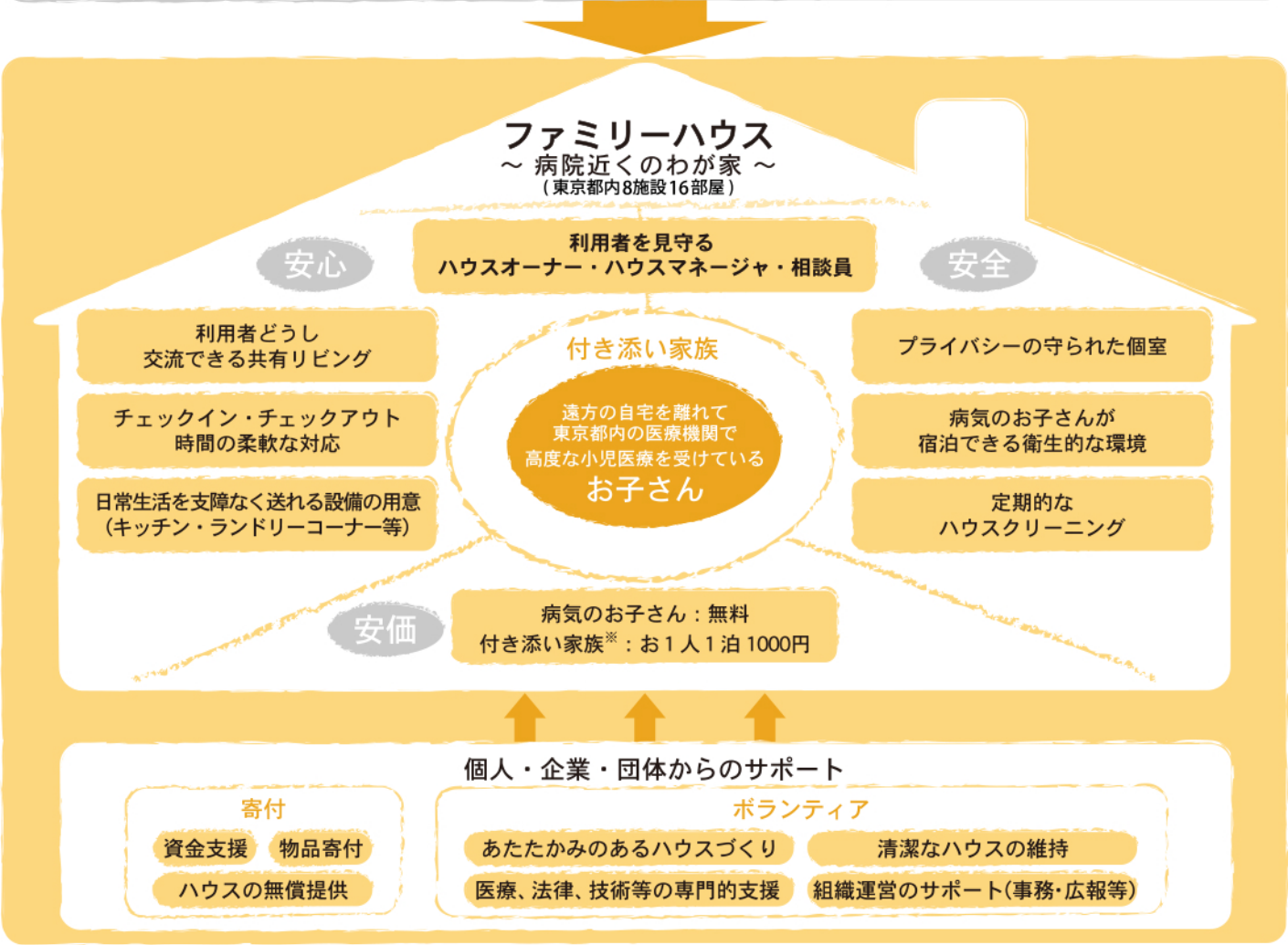
・ 小児がんや慢性心疾患などの小児慢性特定疾患の病児10万人以上
・ 東京都内には多くの高度専門病院
・ 地元で先端医療が受けられない場合は上京

付き添い家族の重要性

・ 病気の子どもの治療効果の向上
・ 病気の子どもの精神的な支え
・ 治療方針の意思決定への参加

家族の負担

・ 基準看護の病院では、付き添い家族の宿泊不可
・ 闘病や、地元と病院の二重生活などによる精神的負担
・ 治療費、交通費、宿泊費などの経済的負担
・ 付き添い生活による身体的負担



※未就学のきょうだいは、お一人様まで無料です。

認定NPO 法人ファミリーハウスの成り立ち

- 1991年 国立がんセンター中央病院小児病棟「母の会」(現在「コスモス会」) から、長期闘病生活の中での滞在施設の要望が強くなる
1993年 遠方から治療にくる病気の子どもを対象とした、日本初の専用滞在施設を開設 (がんがーのーの家)
1995年 設立当初より中心的に関わっていた国立がんセンター中央病院小児科医長(当時) 故 大平睦郎氏が代表理事に就任
1999年 特定非営利活動法人(NPO法人)格を取得
2010年 認定特定非営利活動法人として国税庁から認定
2014年 認定特定非営利活動法人として東京都から認定 (2021年1月25日再認定)

組織概要 2025年5月末現在

〔役員〕					
理事長	江口 八千代	元 独立行政法人国立病院機構 相模原病院 看護部長			
副理事長	細野 亜古	国立研究開発法人国立がん研究センター 東病院 小児腫瘍科 医長			
	牧原 晋	元日本電気株式会社 執行役員常務			
理事/事務局長	植田 洋子				
理事	石田 也寸志	岩瀬 貴美子	加納 裕久	小山 健太	
	酒井 三貴子	芳賀 圭子	長谷川 幸恵	久田 満	
	柳町 玲	余谷 暢之			
監事	豊岡 桃太				

〔顧問〕
川瀬 量平 前ファミリーハウス副理事長

概観

●ハウス利用実績

施設数：8施設17部屋

利用人数：延べ 346家族
(延べ 5,807人)

利用日数：延べ 3,855日

本法人活動開始以来の
利用実績累計：延べ 20,361家族
延べ 187,592日

●利用受付・相談実績

利用受付・相談の電話総数： 3,336件

利用者への面談件数：1,262件

●2024年度活動計算書

(単位:円)

科 目	金 額
【経常収益の部】	
会費	414,000
受取寄付金	46,092,742
ハウス運営事業収益	4,388,000
ハウス運営受託事業収益	3,300,000
その他収益	1,848,951
経常収益合計	56,043,693
【経常費用の部】	
運営相談事業費	33,345,417
運営受託事業費	3,415,580
広報活動費	1,376,676
ネットワーク会議費	346,705
管理費	4,563,982
「理想の家」建設積立金	5,000,000
経常費用合計	48,048,360
固定資産除却損	194,732
経常増減額	7,800,601

活動報告

ハウス関連

🏠 「かちどき橋のおうち」(中央区) 移転開設

2014年4月に開設した「かちどき橋のおうち」(中央区・3室)では、国立がん研究センター中央病院、聖路加国際病院の患者家族を受け入れてきましたが、建物取り壊しのため2025年3月退去しました。新たに近隣にて2025年4月「かちどき橋のおうち」(中央区・2室)を開設しました。移転開設に際して、国立がん研究センターの医師、看護師、社会福祉士から助言をいただき、多くのボランティアの協力によって、感染症防止対策をとりながら短期間で移転開設することができました。



🏠 看護学生等の実習受け入れ

東京慈恵会医科大学大学院および医学部看護学科、東京墨田看護専門学校などの実習や見学を計21件受け入れました。ハウスにおける安全衛生の専門的な取り組みなどを通じて、利用者ニーズへの理解を深める機会となりました。



🏠 「理想の家プロジェクト」の推進

2010年より、病気の子どもと家族が抱える新しいニーズにも対応できる「新ハウス開設プロジェクト」(理想の家プロジェクト)を展開しています。2024年4月、東京都都市整備局が発表した「築地地区まちづくり事業審査結果」において、「こどもの目線に立ったまちづくりとしての、小児がん患者が医療機関の近くで家族と生活することができるファミリーハウスの整備は、国立がん研究センターとの連携を有効に生かした提案であり、地域や社会への貢献が期待されるものとして評価された」とあり、築地市場跡地の一部にファミリーハウスが整備されることが明記されました。引き続き、「理想の家」の実現に向けて、行政や医療機関などの関係機関や専門家と情報交換・意見交換しながら様々な活動に取り組んでいきます。

ボランティア関連

☀️ ハウスを支えるボランティア活動

感染症対策を継続しながら、ボランティアの皆さんの高い意識と工夫により滞りなくハウスを運営することができました（延べ活動回数295回、延べ活動人数860名）。



☀️ オンライン・ボランティア説明会の開催

ボランティア希望者の活動への理解を深めてマッチングを図るために、ボランティア説明会を23回開催。2024年度新規登録者数は20名、2025年3月現在の登録ボランティアは260名。

広報関連

🏆 東京マラソン2025チャリティ

2025年3月2日、ファミリーハウスを支援するチャリティランナー134名が東京マラソン2025に出走しました。2月27日～3月1日の東京マラソンEXPO 2025と大会当日のチャリティラウンジにブース出展して、チャリティランナーに直接お会いすることもできました。大会当日は、当法人事務局前の靖国通りにおいて沿道応援も実施しました。



🏆 チャリティ・ジャズコンサートによる支援

2024年10月11日、NPOグローヴィル主催で「Jazz Night in ひろしま チャリティー・ジャズ・コンサート with Alessio Menconi」が開催されました。ひろしま美術館内で開催されたコンサートで多数の聴衆がギター演奏を楽しみ、コンサートチケットの売上全額が当法人に寄付されました。

🏆 学会発表、企業研修の受け入れ等

第24回中部トータルケア研究会での発表、育成子どもシンクタンクセミナー「子ども家庭庁創設で母子保健はどう変わるかー子どもまんなか社会とはー」での発表、小児がん交流フェスタ2025でのブース出展、また企業の新入社員研修を受け入れ（2件）などを行いました。

☀️ 企業社員ボランティアとの協働

ハウスでの活動のほかオンラインによる活動紹介やプログラムも含めて、合計94回実施して1,271名の企業社員がボランティア参加しました。ボランティアやスタッフが企業などに出向いて行う出張ボランティアやオンラインを活用した活動では、ハウスでの活動が難しい企業の社員の方々にも協力いただく機会を得ることができました。



🏆 第25回 J H H Hネットワーク会議の開催

2025年2月8日、当法人主催で国立がん研究センター研究棟にて開催し、会場とオンライン合わせて107名が参加しました。こども家庭庁成育局成育環境課こどもホスピス専門官 支援局総務課自殺対策室課長補佐 内川麻実子氏による講演「こどもまんなか社会の未来に向けて～こどもホスピスの取り組みをふまえて～」のあと、分科会では全国のハウス運営団体及び多様なバックグラウンド参加者と、患者とその家族を支える活動をする参加者同士で意見交換をしました。



🏆 「ファミそ」づくり

料理研究家脇雅世ご夫妻のご協力により、「ファミそ～ファミリーハウスのための味噌～」づくりが11年目を迎え、毎年楽しみにしている方々へお届けすることができました。



事業の内容

ハウス運営事業（8施設 16部屋）2025年5月末現在



相談事業

子どもが病気になったことから、遠く自宅を離れ、わが子とともに闘病することとなった家族の方々が直面するさまざまな困難について、ともに問題の解決をはかるために、ご相談をお受け致します。

例えば以下のような点でお悩みの時

- ・滞在施設に関すること
- ・長期入院、遠距離通院に伴うこと
- ・看病に伴うこと
- ・地元と病院の二重生活に伴うこと
- ・その他

受付時間	月～金 10時～18時
受付電話番号	03-6206-8374
相談料	無料
相談員	相談には専門のスタッフがあたります。

認定NPO法人ファミリーハウス支援のお願い

1. 寄付によるご支援

・寄付金でのご支援

a. 下記の口座に郵便振替でお振り込みください。

郵便口座名義：「ファミリーハウス基金」

郵便振替口座 / 00180-1-654419

b. インターネット上からクレジットカードによる寄付もできます。詳しくはファミリーハウスのホームページをご覧ください。

(ファミリーハウスでは、寄付金を頂いた皆さまを「後援会員」とさせていただきます。)

・物品でのご支援

a. プリペイドカードの寄付

(図書、百貨店、クオなど各種カード)

b. 「ファミリーハウス」で使用される物品の寄付
(家電製品、衛生用品、家庭用品、食料品など。

原則として新品に限る)

2. ボランティアとしてのご支援

・あたたかみのあるハウスづくりへのサポート

・医療・法律・技術等の専門的サポート

・清潔なハウス維持へのサポート

・組織運営のサポート(事務・広報等)

2024年度にご支援いただいた皆様

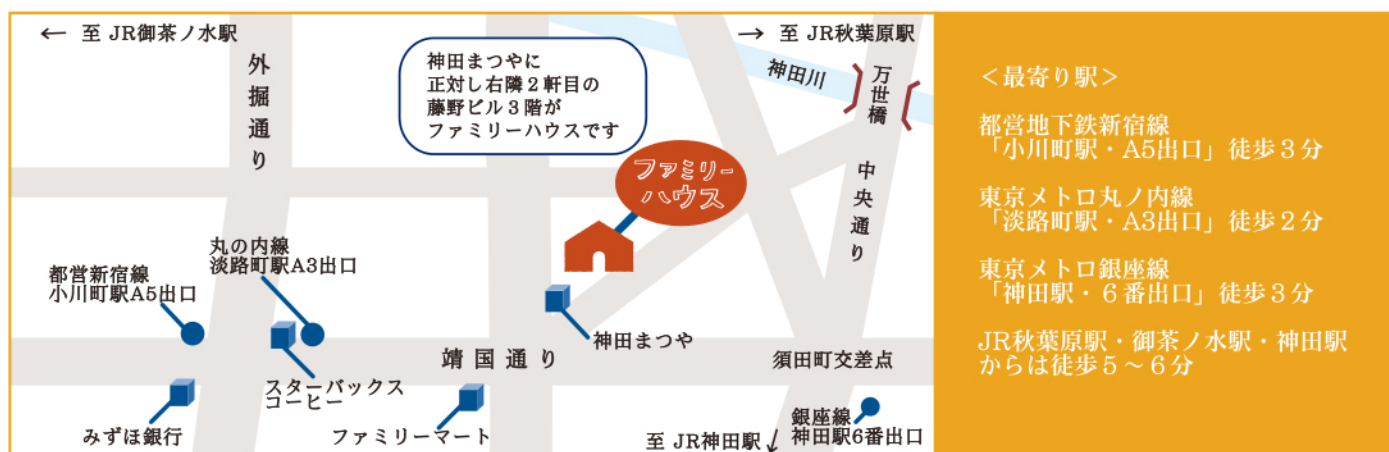
正会員数 101 寄付者数(後援会員数) 729

International Swaps and Derivatives Association, Inc., あじさいの会、味の素株式会社、アストラゼナカ株式会社、足立医院、Alnylam Japan 株式会社、医療法人一丸堂、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社、乾汽船株式会社、株式会社エアヘッドコンサルティング、エイブル保証株式会社、株式会社エイブル、株式会社エイブル&パートナーズ、エドワーズライフサイエンス合同会社、エドワーズライフサイエンス財団、FJホールディングス株式会社、MS&ADゆにぞんスマイルクラブ、太田鉄筋有限会社、株式会社大塚商会、オリンパス株式会社、カールストルツ・エンドスコピー・ジャパン株式会社、花王株式会社、源良院、株式会社高酸素グッドケアアンドグッドヘルス、KOYO証券株式会社、ゴールドマン・サックス証券株式会社、国際基督教大学教会ハンドベルクワイア ジョイフルリンガーズ、榊原記念病院医療連携室、佐野味噌醤油株式会社、株式会社サンリオ、三和グループ社会貢献倶楽部、株式会社ジェーシービー、JPモルガン証券株式会社、「Jazz Night in ひろしま」実行委員会、浄土真宗本願寺派 仏教婦人会総連盟、ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ JAPAN COMMUNITY IMPACT、株式会社 zes、随應寺、住友生命保険相互会社、住友生命保険相互会社大阪広報センター、株式会社ス نداイ、聖学院中学校高等学校 PTA 宗教委員会、宗教法人聖心会、聖心女子学院 中・高等科 泉の会、聖心女子大学同窓会宮代会、公益財団法人生命保険文化センター、株式会社セリア、センコー株式会社、株式会社セント・フォース、宗福寺、第一三共株式会社、大鵬薬品工業株式会社、大鵬薬品工業株式会社北日本支店、大鵬薬品工業株式会社札幌支店、株式会社大和証券グループ本社、武田薬品工業株式会社、社会福祉法人千代田区社会福祉協議会、株式会社 DEERS FOOTBALL CLUB 胎内 DEERS、東京建物株式会社、東京ロータリークラブ、トーア再保険株式会社、ドキュサイン・ジャパン株式会社、株式会社虎屋、株式会社トワ・スール、株式会社日本財託、日本生命保険相互会社 代理店サポートセンター、日本生命保険相互会社 法人職域業務部、公益社団法人日本フィランソロピー協会、一般財団法人日本メイスン財団、日本メトロニック株式会社、株式会社ネイチャーズウェイ、パナソニック オペレーショナルエクセレンス株式会社、株式会社ピースワン、光と風とエネルギーを安原智子基金、ヒビノ株式会社、株式会社福祉医療共済会、フコク生命保険相互会社東京支社外野クラブ、プリンシパル・グローバル・インベスターズ株式会社、ブルームバーク・エル・ビー、ブルデンシャルジブラルタファイナンシャル生命保険株式会社、坊主 Bar Watanuki、ポールヘイスティングス法律事務所・外国法共同事業、牡丹山薬局、公益財団法人毎日新聞東京社会事業団、株式会社松勘、みずほ証券株式会社、三井住友トラストグループ株式会社、明治安田生命保険相互会社、明治安田生命保険相互会社企画部、メータージャパン株式会社、モルガン・スタンレー MUFG 証券株式会社、BIPROGY グループ社会貢献クラブ「ユニハート」、ライフテクノロジーズジャパン株式会社、ランドボート株式会社、リコーリース株式会社、有限会社リバービル、株式会社リャンロンジャパン、レンドリース・ジャパン株式会社、Loadstar 株式会社

※ 「ハウス運営・相談事業費」の一部は、エドワーズライフサイエンス財団の助成を受けて運営しました。

※ 「ハウス運営・相談事業費」の一部は、一般財団法人日本メイスン財団の助成を受けて運営しました。

このほか、紙面の都合上記載できませんが、ご支援いただいた個人、および企業、団体の皆様ご協力ありがとうございました。



<最寄り駅>

都営地下鉄新宿線
「小川町駅・A5出口」徒歩3分

東京メトロ丸ノ内線
「淡路町駅・A3出口」徒歩2分

東京メトロ銀座線
「神田駅・6番出口」徒歩3分

JR秋葉原駅・御茶ノ水駅・神田駅
からは徒歩5～6分



ゆりこ

SNSのフォローをお願いします！



認定特定非営利活動法人

ファミリーハウス

〒101-0041

東京都千代田区神田須田町1-13-5 藤野ビル3階

電話 03-6206-8372 FAX 03-3256-8377

E-Mail jimukyoku@familyhouse.or.jp

URL <https://www.familyhouse.or.jp>

公式サイト



公式X (Twitter)



公式YouTube



公式Instagram



© Yuriko Yamawaki 2006